

=地域の安全、まずは工事現場から= (周辺自治体と一緒に)

平成23年2月18日 新丸山ダムでは、地域の安全を目的に同じ公共工事を担い『良質な公共構造物構築・維持管理を国民・住民へサービス』を提供する立場で、公共工事現場からも安全対策が重要との認識から、新丸山ダム周辺自治体工事担当の方にも参加を呼びかけて、34名の参加で新丸山ダム工事事務所工事安全協議会総会を開催しました。

安全協議会総会は、「新丸山ダム工事事務所が発注する工事における労働災害防止に努めること。」としています

各務原市、坂祝町、八百津町等の参加者からは、「具体的な災害事例が勉強になった。」「リスクアセスメントの大切さが分かった。」等の意見がありました。

●安全協議会 会長挨拶 (代理：副所長木村)
『今回、自治体の方にも参加を頂き、現場の安全意識高揚になれば幸い。』『今後も自治体の方と技術的な面等で交流等が進められれば』と挨拶

●安全協議会 顧問挨拶
関労働基準監督署 澤田署長



【安全協議会での講演】

- 『災害事例に学ぶ安全対策』
(社) 日本土木工業会 杉山 眞一氏
- 『リスクアセスメント』
関労働基準監督署安全衛生課 早川 政志課長
- 『救命講習及び実務』
可茂消防中消防署八百津出張所 渡辺 徳男所長

『救命講習及び実務』
多くの参加者から心肺停止時の蘇生方法が講評でした。

安全（無事故で工事完成）の誓い
栗山組(株) 各務 現場代理人

